

# 軽防協ニュース速報 号外

2008年11月14日  
軽種馬防疫協議会 事務局  
(JRA 馬事部防疫課)

## イスラエルにおける馬ウイルス性動脈炎の発生について

2008年10月7日、イスラエルにおいて馬ウイルス性動脈炎（EVA）の発生が確認された。これは OIE のリファレンスラボである Weybridge 研究所において発熱馬のサンプルを用いた中和試験により診断されたものである。11月3日までに28件の発生報告があり、115頭で陽性例が確認されている。イスラエルにおける本疾病の発生は初めてとなる。

当初は発生農場に限定した隔離措置がとられたが、11月7日にはイスラエル全土において96時間の移動制限が課された（11月8～9日に予定されていた馬術競技イベントによる感染拡大を防止するため）。これまでに収集された疫学データによれば、10月初めに HaMerkaz (Center) 地区の4厩舎においてほぼ同時に発生が確認され、その3週間後には国内全土に拡大している。新規の馬の導入（輸入）あるいは種付けによって侵入し、馬術競技会等を介して国内全土に拡大したものと考えられている。

(OIE) [http://www.oie.int/wahis/public.php?page=single\\_report&pop=1&reportid=7505](http://www.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=7505)